

ねらい

光南台公民館がある光南台中学校区は、海と山に囲まれた細長い半島で、地震による液状化、津波、ため池の決壊、土砂崩れ、高潮等の被害が予想されます。

以前は、小学校区全体での防災キャンプを実施したこともありますが、現在は町内ごとの立地状況等に応じた取り組みを行っています。

本事業は、宮浦町内会に設置されている「宮浦婦人防火クラブ」との共催で、子どもから大人までを対象にした防災・減災に係わる学習や体験を行い、地域の防災力の向上や地域住民の交流の機会になることを目的に年2回開催しました。



7月下旬に実施した part 1 では、西日本豪雨災害へ救助に行かれた消防士さんの体験談を聞きました。

実体験に基づくお話しは説得力がありました。

起震車体験



7月豪雨で特別警報が出た時を振り返り、今後どういう行動をとるべきかについてワークショップを行いました。

「岡山は大丈夫」「自分は大丈夫」と思っていたが、今後は積極的な情報収集、早めの避難を確認しました。



「119 番かけるくん」で模擬訓練



消火訓練



Part 2 では、公園で炊き出し体験を行いました。同じ町内の人と協力して作業をし、テーブルを囲むことで近所のつながりにもなりました。

効果

豪雨災害から間もない時期に Part 1 を開催し、内容もそれに関するところを取り入れたため、参加者はより身近な問題として防災、減災をとることができました。基本的には町内を対象にしているため、子どもから大人まで近所の人とのつながりを深めるきっかけにもなりました。今後は若い世代の参加をもっと増やすよう工夫していきたいです。